秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

きらりNet

令和３年７月２２日
第１１５号
秋田県立秋田きらり支援学校
地　域　支　援　部

【小学部の進路指導について　～小学部のキャリア教育とは～】

小学部の保護者の方々に、進路（指導）のことを話題にすると、「難しい」、「よく分からない」、または「まだまだ先のこと」、「まだイメージできない」というお話がよく聞かれます。というのも、進路指導は、中学部（校）や高等部（学校）のこと、あるいは卒業時のこと、と捉える方が多いからではないかと考えます。しかし、進路について、ここ 10 数年で、キャリア教育の考え方が基本となっています。

キャリア教育とは～【障害の程度に関係なく、自分らしい生き方を（見付け）実現していく（ために必要な意欲や態度を育てる）教育】

★そのため、キャリア教育は就学前の段階から体系的に取り組んでいくべきもの
★そして、キャリア発達は在学中で終わるものではなく、一生涯積み重ねていくもの

では、小学部でキャリア発達を促すためには、日頃どんなことに取り組めばよいのか、いくつか紹介します。（きらり支援学校「進路の手引き」より）

キャリア教育における発達を促す視点とは、児童の少し先の将来を見据えて、
今、何が（どのような力が）必要なのかを考える視点を取り入れることが大切！！

人との関わり

あいさつ、返事　　お礼・謝罪・依頼
家族、友達、先生が好き
関わりを受け入れる
相手の気持ちを考える　　笑顔で関わる　等々

生活に関すること

健康の維持　生活リズム
準備・片付けの習慣
一人でできることを増やす
（食事・排せつ・移動面等）　　等々

意欲・前向きな態度

～したい！と意欲をもつ
挑戦しようとする　自分で選択・決定
たくさん褒められる
安心感・信頼感をもつ　　等々

自己理解

好き・嫌い・得意・苦手なことが分かる
一人でできること、できないことが分かる
自分の身体のことを理解する　　等々

ここで掲載したものは一例です。そのため、その子が自分らしい生き方をしていくために必要な要素、視点はそれぞれに違ってきます。

～終わりに～

これまでも、そしてこれからもキャリアの発達は促されていきます。その際、五感を使いながら、いろいろな物事（人・物・場所・環境・雰囲気など）に対する経験値を高めていってください（やってみる、見てみる、触ってみる、感じてみる、聞いてみる、味わってみる等々）。その際の経験が、今後・将来の様々な表現の表出や獲得につながったり、得意・不得意が分かる手掛かりになったり、一人でできる・難しい？の判断につながったりするはずです。

また、そこで関わる側の私たち（教師および保護者）が、子ども達が将来、社会に出ても困らないように、社会的な尺度・視点をもって接することに気を付けていきたいものです。＜文責：伊藤　和樹＞

令和３年度　かがやきの丘ミニ学校展、きらりミニ学校展の開催について（８、９月）

✨学校紹介パネル、児童生徒の作品や作業学習製品等を展示します✨

きらりミニ学校展③　　８月　２日（月）～８月２４日（火）【秋田温泉プラザ】
きらりミニ学校展④　　８月２７日（金）～９月１３日（月）【秋田銀行御野場支店】
きらりミニ学校展⑤　　９月１５日（水）～１０月７日（木）【北都銀行秋田南支店】

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

日々の学習活動より　～小学部３年生　生活科の実践紹介～

○授業について

年間指導計画では、特別支援学校学習指導要領の主に「きまり」「安全」「手伝い・仕事」の部分を取り上げました。今回紹介する授業では、「手伝い・仕事」の中の『掃除』をピックアップし、単元としました。

掃除

＜単元として＞
○掃除道具の名前や使い方を知り、簡単な掃除ができるようになる。
○活動後の結果が分かりやすく、自らやってみようという意欲をもたせやすい。
○日常生活で身に付けるべき習慣の一つで、自立と社会参加につながる。

☆日常的にゴミを捨てようとする、掃除道具を使って掃除しようとすることの**般化へ**
☆**自らやってみよう**とする意欲や掃除をして**きれいにしよう**とする意識を育てる。
☆学習の発展から、**人の役に立とう**とすることや**相手から感謝**されることもできる。

・電子黒板を使用し、授業の流れやポイントなどをイラストや動画等で示し、視覚的に分かりやすくした。

授業の様子から

・汚れを拭き落とす感覚がつかめるシートを使用し、少し力を入れて拭くことや、汚れに注目して拭けるようにした。

【授業後の変容】
・見通しをもち、やることが分かって取り組めていた。
・ポイントを思い出したり、友達の様子を真似たりしながら汚れを落とそうとしていた。
・給食後に机を拭くように伝えると、授業でのポイントを思い出して拭こうとしていた。

＜文責：鈴木　陽＞

教育専門監のコーナー

【子どもが活動する「子ども主体」の授業づくり】

【セルフディターミネーション】

○自分の生活や生き方において大切なことを実現できるように、自分が主体となって行動すること。

1　自主的・自律的に行動すること
自分の好み・興味・能力に従って、自分の意思で行動すること。

2　自己調整的であること
自分のいる環境の状況にあわせてどんな行動をとったらよいかを決めたり、自分の行動による結果を評価したりすること。

3　「自分は何かができるぞ」という自己効力感を実感していること。
自分で環境をコントロールすることを意識したり、モチベーションをもったりすること

4　自分についての知識を使って行動すること
自分自身についての知識、自分の長所や自分の限界を認識し、その知識を使いながら行動すること。

参考：「ぱれっと（PALETTE）」（ジアース教育新社）

《きれいになりました》

子ども達の「できない」「どうしていいか分からない」という気持ちに寄り添い、問題解決に向けた方法を「提案」「交渉」する小学部の実践。大切にしているのは、自分で考え、自分のタイミングで行動し、自分で評価する、各自のセルフディターミネーション。周囲に依存するのではなく、自分で判断し掃除を進めます。一人一人のモチベーションの高さ、それは、自分が掃除することで喜んでくれる人がいるということ。一緒に掃除を進め、互いを認め合うことで子ども達の自尊感情・自己効力感が育まれていきます。個々の主体的な活動と参加、役割と責任、生活科の“学び”の中で、自分らしい生き方に気付き、身に付けていきます。

〈文責：二階堂　悟〉

◇教育相談・見学の希望があれば、いつでも御連絡ください。
教頭　　高橋　省子　　地域支援部主任　　大友　明希子
住所：〒010-1409　秋田市南ケ丘１丁目１番１号
E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp
電話：018（889）8573　　FAX：018（889）8575
「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。
http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html